

# 議会だより

## 新年のごあいさつ



山ノ内町議会議長

児玉 信治



新年明けましておめでとう  
ございます。

平成27年の新春を迎え、皆  
様にはますますご健勝でご活  
躍のことと、心からお慶び申  
し上げます。

昨年末には、第8回の議会  
報告会を開催し、多くの皆様  
が参加され貴重なご意見・ご  
提言をいただき、ありがと  
うございました。「町民目線」  
を忘れることなく行政に反映  
すべく努力してまいります。

二元代表制の一翼を担う議  
会には、決定機関としての役  
割や執行機関を監視・評価す  
る機能をより発揮していくこ  
とが、強く求められています。  
議員は、日頃の活動を通じ  
て町の皆様の要望や行政課題

を把握し、本会議や委員会の  
中で町側に疑問点を質してい  
ます。しかしながら、議員提  
案や町側の提案に対する積極  
的な改善・修正を行うことも  
少なく、町提出の議案を議決  
するとう受け身の状態にあ  
るとの批判も聞こえてきます。

このような現状を踏まえて、  
議員一人一人が自己総括をし  
更なる精進をしなければと強  
く感じています。

「閉鎖的でなく」「監視の  
役割だけでなく」「質問のい  
っぱなしでなく」を重視す  
る議会を目指し、町民の皆様  
の要望にこたえられるように  
努力してまいります。

最後に、皆様のご多幸とご  
健勝を心よりご祈念申し上げ、  
新年のご挨拶といたします。

第99号

平成27年1月27日  
(2015)

発行 山ノ内町議会  
責任者 議長 児玉信治  
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡  
山ノ内町大字平穏3352-1  
☎0269-33-1101 (有)2020  
E-mail  
gikai@town.yamanouchi.nagano.jp  
議会ホームページは  
「山ノ内町議会」で検索!!

山ノ内町議会 検索

## もくじ

議長あいさつ・12月定例会関連記事	18
一般質問内容	20
議会報告会	27
常任委員会管外視察報告	28
みなさんからの請願・陳情、全員協議会等	30
みんなのひろば	31

## 平成26年第4回山ノ内町議会定例会

# よませ保育園の改修工事(建築)

## 園庭の芝生工事など変更請負契約の締結を承認

平成26年第4回山ノ内町議会定例会は、12月9  
日から22日までの14日間にわたって開催され、町  
側から、専決処分の報告2件、承認1件、買取契  
約の締結1件、一般会計他5特別会計ならびに1  
事業会計の補正予算11件、町道路線の廃止1件、  
認定1件、条例の一部改正4件が提案されました。  
議会側から、条例の一部改正1件、意見書案5  
件を提案しました。

審議・採決の結果、特別職の給与条例・議員の  
期末手当に関する条例の一部改正およびそれにと  
もなう補正予算は賛成多数、他の案件は全会一致  
で受理・承認・可決しました。

陳情・要請につ  
いては、5件を採  
択、1件を不採択  
としました。

12月11・12・15  
日の一般質問には、  
14人が登壇し、3  
期目を目指す町長  
の所信、人口問  
題、防災対策、観  
光・農業、教育問  
題、子ども・子育  
てなど多岐にわた  
る課題で町・教育  
委員会の考えを質  
しました。



園庭が芝生となるよませ保育園

### 専決処分の報告に 対する質疑

**よませ保育園改修工事(建  
築)変更請負契約の締結**

**質問** 園庭の工事が出てきた経  
過と金額は。

**答弁** 太陽光発電を断念せざる  
を得ない中で、関係の皆様と  
協議した上での要望。金額は、  
580万円。

**質問** スプリンクラー設置にい  
くらかかかるか。必要性・危険性  
はどうか。

**答弁** 35万円程。直径3cmのヘ  
ッドが水圧で出て、怪我をした  
事例はない。芝が生えてくると  
穴自体もわからないということ。  
今回のシステムは、散水と水  
はけの両方が考慮され、園児の  
いない時間帯に、自動で散水す  
る。

**質問** 工期の延長によって園が  
使える時期に変更があるのか。

**答弁** 1月5日から当初説明ど  
おり利用できる。ただ、園庭は  
工事中使えない。

# 補正予算

## 一般会計(第4号)

歳入歳出4,847万1千円を追加し、総額69億7550千円となります。

歳出の主なものは、ふるさと寄附金に係る特典贈答品購入経費160万円、町制60周年記念植樹地の整備費162万円、ほか民生費・観光振興費などです。  
有線放送事業・国民健康保険特別会計

繰越金増額にともなうものです。

## 水道事業会計(1号)

消火栓受託工事費、次年度水道管布設替工事の設計委託料などの補正です。

## 追加一般会計他全会計

給与条例改正にともなう人件費の補正で、財政調整基金より1,073万9千円の繰り入れ対応です。

## 町営住宅改善箇所買取契約の締結

湯ノ原町営住宅のリフォーム工事を県住宅供給公社に委託し改善箇所を、364万円で購入するもの

# 条例の一部改正

## 消防団員等公務災害補償条例

出産育児一時金を40万4,000円にするなど改正。

## 国民健康保険条例

000円にするなど改正。

## 一般職の職員給与条例

人事院勧告による国家公務員に準じ、給料表0・3%、勤勉手当0・15か月引き上げと27年度から勤勉手当の支給割合の変更です。

また、給料表、諸手当の在り方を含めた総合見直し

です。2年目の今回は、観光経済常任委員会に審査付託しました。



リフォームされた町営住宅

で、給料表の平均2%引き下げを27年4月1日より施行する改正です。なお、新給料表への移行には三年間の経過措置(現給保障)があります。

## 特別職の給与条例

期末手当を一般職と同様に引き上げ・支給割合を再配分する内容です。

(反対 黒岩議員)

## 議員の期末手当条例

特別職と同様に引き上げ・支給割合を再配分します。

(反対 黒岩・徳竹議員)

## 町道の認定・廃止

### 町道路線の廃止

戸狩区内の屋敷添1号線、道路として通行できない区間があり、隣接地権者の同意を得て区長より申請があったものです。国土調査の進展により明らかになりました。

### 町道路線の認定

表落合3号線、国道403号の改良にともなうものです。

## 特別職の給与条例改正に対する討論

### 反対討論

黒岩 浩一 議員

反対の理由は、①当町の景気は未だ低迷状況。②町長は人事院勧告と近隣横にらみだけで自主性がない。首長としての自覚が薄く、公務員意識である。③「職員関連は人勧通り。特別職と議員の賞与増額見送り」と、見識を示した飯山市と

## 一般職の給与条例改正に対する討論

### 賛成討論

黒岩 浩一 議員

景気先行きに不透明感あり、特に地方は未だに低迷状況の現在、公務員賞与増額の人事院勧告に違和感がある。然し、職員賞与給与案には賛成する。理由は、①賞与増額だけでなく、高年層給与漸減を含む改定案がセットで提案されていること、②数が多い公務員の賞与増額は、消費刺激効果を期待できること、③若者の価値観多様化と相まって、役場職員優遇は若者の地方回帰促進策のひとつである。

したもの。従来から、人勧を尊重するとしてきており、一般職の勤勉手当が0・15か月引き上げられたことから、常勤特別職の期末手当を0・15か月引き上げるもので従来どおりです。

米村を見習うべし。④町に誇りを持つためには、例えば中野市との職員給与差固定化の問題。小さな風穴を開ける工夫を。首長お手盛りはそのあとに。

### 賛成討論

湯本 市蔵 議員

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正に関する

## 議員の期末手当条例改正に対する討論

### 反対討論

黒岩 浩一 議員

特別職同様に、議員は町の状況を見て賞与増額を判断すべきで、今は増額の時期ではない。飯山市・米村の見識を見習うべきであった。また今回は、人事院勧告詳細と町側の方針についての町から議会への報告が未だない11月末の段階で、議会が先走って議員賞与増額を決めたと言ふ恥ずかしい形になったのは遺憾。また決める段階で一部の議員の自覚に欠ける発言があったのも遺憾であった。

### 賛成討論

小林 克彦 議員

この度の改定は国の人事院および県の人事委員会が行った特別職の公務員の期末手当を、現行から年0・15か月引上げて、年3・10か月とする勧告に準拠するものであります。

この引上げ勧告は、平成22年に0・15か月引き下げたものを、五年ぶりに従前に戻す改定であります。

勧告は引き下げも、引上げも、常に採用してこそ公平となり、政治的判断はその後行すべきと考えます。

# 観光産業の活性化施策を



小根澤 弘

になるよう取り組んでいく。

**質問** 外国人観光客向けのPR体制は。

**質問** 今後の平地観光での施策と着地型商品は。

**観光商工課長** 観光連盟の魅力アップ委員会のなかでE B E S Aの見直しをしている。また、民間レベルで温泉観光大使という商品を販売する準備をしている。

**質問** 県は12月から2月末まで、接客などで英語対応に困ったとき、通訳が電話

**町長** 県と連絡を密に業界の皆さんと一緒に十

**観光商工課長** 現在、英文のホームページへの記載準備と、善光寺御開帳の公式サイトにも外国語のページが追加されるので町の情報をリンクさせていく。

**観光商工課長** 町は登録してないが、民間に1件ある。

**質問** 当町にもこのようなシステムの考えは。

**町長** 県と連絡を密に業界



# 子ども・子育て新制度、町はどう変わるのか

湯本市 蔵



放課後児童クラブで勉強、遊び（南小学校）

**質問** 来年4月実施、国の具体的方針は決まったのか。

**健康福祉課長** 子ども・子育て支援事業計画策定、保育所利用方法の変更、放課後児童クラブを事業に、国の財政支援などの方針は示されたが、詳細は不明。

**質問** 町の保育行政はどう変わるのか。

**健康福祉課長** これまでと大きく異なるが、認定を受けることにより保護者が給付を受け、町が代理受

領する仕組みになっている。この機会に、多子世帯の軽減対策を計画している。

**質問** 放課後児童クラブは。

**健康福祉課長** 児童福祉法の改正により学童保育の設備・運営について条例で定めることとなり、3月議会に上程を予定している。

**質問** 消費税増税先送りで、財源不足の懸念がある。また、準備の時間あまりにも少なく、事務作業量が多いことから、拙速な実施はやめるべきとの声も多いが、町の考えはどうか。

**健康福祉課長** 11月下旬内閣府から予定どおり施行の

連絡があった。ただ、財源確保は課題となっている。

**質問** 解散・総選挙について、大義ないと思うが町長の見解は。争点は何だと考えるか。

**町長** 解散は総理大臣の専権であり、コメントする立場でない。

アベノミクスの是非を問う選挙といえるかもしれないが、マスコミ報道では、集団的自衛権、原発政策なども言われている。

**質問** 投票率向上努力を。

**選管書記長** どの選挙でも大きな課題であり、啓発活動を実施予定である。



町のさらなる活性化につながる大会に（志賀高原ロングライド）

**質問** 3月に北陸新幹線延伸開業、4月に善光寺御開帳が開催されるが、誘客対策と入込客数の予測は。

**観光商工課長** 観光連盟と共にチラシを作成し、大都市や北陸の各都市へ配布している。また、2〜3割増

# 奨学資金貸与はすべての希望者に

渡辺 正男



**質問** 申請者数と貸与決定者数は。

**教育次長** 24年度、申請者は3名で決定者3名、25年度は申請者12名で決定者5名、26年度は申請者4名で決定者は4名。

**質問** 24年度の奨学金制度拡充の内容と目的は。

**教育次長** 奨学生の資金償還期間を町内居住10年経過後、償還未済額を免除する内容とした。若者の定住対策ということも考慮した。

**質問** 償還期間は最長何年まで延ばせるのか。

**教育次長** 高校8年、高専12年、大学15年、短大8年、専修学校8年である。

**質問** 町内居住10年経過後の免除を受けられるのは一部だけ。なぜそうしたか。

**教育次長** 貸与金額を加味して償還期間を定めた。

**質問** 25年度、申請者7人

に貸与できなかった理由は。  
**教育次長** 予算の範囲内というところで、5名になった。

**質問** 予算は予算、補正予算が組めるのではないか。子どもたちには、都会で学んで故郷へ帰ってきて、ここで働いてもらいたい、町のために住み続けてもらいたいという願いのこもった貸与・免除制度のはずだ。貸与を受けられず、もう町には帰らない、と思う子どもたち

がいるのではと心配になる。  
**教育次長** 予算の範囲内というのが原則である。

**質問** あまりに機械的な判断。5人までとしたことに後悔や反省はないか。  
**教育次長** 何とかできなかったかとの個人的思いはある。

**質問** 奨学資金は、出しっぱなしのお金ではなく、将来返済されるお金。希望者数に応じた補正予算対応を。

学校種別	貸与月額	償還年数
高等学校	※自宅・自宅が、国公立・私立等により下記の範囲で金額が異なります。 20,000円以内～30,000円以内	8年
高等専門学校	20,000円以内～55,000円以内	12年
高等専門学校	20,000円以内～60,000円以内	15年
4年生大学	45,000円以内～55,000円以内	8年
4年生大学	45,000円以内～55,000円以内	8年

「広報やまのうち伝言板」に掲載の奨学生募集告知

# 公平・透明・先進・先見性の行政運営をすべきでは

徳竹 栄子



**質問** 競う自治体、首長として競争心を持つべきでは。

**町長** 行政で勝ち組、負け組など私は好まない。

**質問** 行政サービスの可燃ゴミ収集を志賀地区は行うが、北志賀地区はしないのはなぜか。公平ではないので同様にすべきと考えるが。

**町長** 都市計画税廃止時に地元と協議した。内容の中心については控えたい。

**質問** 観光協会への統一宣伝費が出ている、出ていないところがあるがなぜか。

**町長** 効果的かつ業界の要望内容を精査し、観光連盟と協議を経て対応している。

**質問** 行政サービスなどが一部地域の優遇策として町民に不信や誤解を与えないために、一般寄附を目的限定寄附にすれば寄附者の意向に沿え、より透明性が確保される。行政はそうあるべきでは。

**町長** あくまでも、寄附者の意向を受け入れ使途している。ご理解を頂きたい。



競い合う近隣自治体は第3子保育料無料化へ

**町長** 効果的かつ業界の要望内容を精査し、観光連盟と協議を経て対応している。

**質問** 行政サービスなどが一部地域の優遇策として町民に不信や誤解を与えないために、一般寄附を目的限定寄附にすれば寄附者の意向に沿え、より透明性が確保される。行政はそうあるべきでは。

**町長** あくまでも、寄附者の意向を受け入れ使途している。ご理解を頂きたい。

**質問** 観光協会への統一宣伝費が出ている、出ていないところがあるがなぜか。

**町長** 効果的かつ業界の要望内容を精査し、観光連盟と協議を経て対応している。

**町長** 効果的かつ業界の要望内容を精査し、観光連盟と協議を経て対応している。

**町長** 過去の実施効果が踏まえ、福祉乗物補助券を交付している現状である。

**質問** 近隣の市町村に負けない子育て支援策として、保育料の第3子は、すべて無料とする考えは。

**町長** 27年度より3子対策改善予定、要望を総合的に取り入れ対応していきたい。

# 当町の防災対策は大丈夫か



田中 篤

ているか。

**建設水道課長** 区などから

の要望は、県と現地確認を  
して緊急性・必要性を勘案  
の上、事業化を進めている。

**質問** 避難施設の耐震化は  
どうなっているか。

**危機管理室長** 昭和56年以  
前の建物については、計画  
的に進めている。

**質問** 災害別の避難方法の  
体制作りは。

**危機管理室長** 現在の自主  
防災組織だけでは十分でな  
い認識で、機能別消防団の  
指導・協力により、自主防  
災組織を中心に備えていく。

**質問** 防災マップと関連し  
て、地域特性を入れた災害  
別の避難方法を示した冊子  
を作る予定はあるか。

**危機管理室長** 基本的なも  
のは町で作り、地元で消防  
団などと相談して肉付けし  
てもらいたい。

**質問** いよいよ橋脚の基礎  
工事に着工したが、完成の  
見通しはどうか。

**町長** 県は平成28年の冬前  
の開通予定で整備中。

**質問** 新幹線延伸開業から  
実質ワンシーズン遅れとな  
るが、今以上に完成が遅れ  
ないように綿密な連携を。

**建設水道課長** 用地買収補  
償を今年度に行い、来年度  
から道路工事に入る予定、  
一日も早い完成を要望する。

**質問** 災害発生時、住民が  
行政に求める重要なものに  
情報提供があるが、新防災

**危機管理室長** 十分捉え切  
れていないので見直したい。

**質問** 新防災マップの土石  
流警戒区域の範囲などを含  
め信頼性保持のために住民  
に丁寧な説明が必要である。

**消防課長** 住民の皆さんに  
周知をしていきたい。

**質問** 少子化・人口減少等  
町が抱える殆どの課題解決  
は産業力の盛衰にある。こ  
れ以上の生産力の低下を防  
ぐためには後継者が重要。

**農林課長** 里親制度の取り  
組みと個別管農届書を取り  
まとめている段階。

**観光商工課長** 調査はして  
いないが、検討の話はある。

**質問** 県の事業引継ぎ支援  
センターはご存じか。

**観光商工課長** 承知してい  
ない。

**質問** 後継者不足の事業者  
と就業希望者の引き合わせ  
をワンストップで行う。県  
やふるさと回帰支援センタ  
ーを利用して今すぐ積極的  
に進めるべきである。

その他の質問

○バス路線、児童生徒関連

**質問** 冬季の災害である雪害について、排雪基準と県および業者との連携状況は、建設水道課長 排雪は原則的には行わない。ただし多量の積雪により通行が困難な場合は、状況判断して町から業者に指示する。緊急時には、北信建設事務所と町の協定で相互除雪を行う。

**質問** 地震その他の災害が冬季起きない保障はない。避難施設の機能を維持する除排雪の考え方は、建設水道課長 地元要望により現状確認後判断する。

**町長** 質問の趣旨を踏まえて、住民・観光客に支障がないように最大限努力する。

**質問** ハザードマップの危険箇所の対策は、危機管理室長 住民の生命財産と安全を優先して、関係各課と協議し予算化する。

**質問** 県との関係はどうし



災害時いつでもここに避難を

## 国道403号 裏落合工区着工

小林 克彦



いよいよ着工 裏落合工区

**質問** 計画では、避難準備情報・避難勧告・避難指示の判断基準などが明確に記載されているか。

**危機管理室長** 十分捉え切れていないので見直したい。

**質問** 新防災マップの土石流警戒区域の範囲などを含め信頼性保持のために住民に丁寧な説明が必要である。

**消防課長** 住民の皆さんに周知をしていきたい。

**質問** 少子化・人口減少等町が抱える殆どの課題解決は産業力の盛衰にある。これ以上の生産力の低下を防ぐためには後継者が重要。

**農林課長** 里親制度の取り組みと個別管農届書を取りまとめている段階。

**観光商工課長** 調査はしていないが、検討の話はある。

**質問** 県の事業引継ぎ支援センターはご存じか。

**観光商工課長** 承知していない。

**質問** 後継者不足の事業者と就業希望者の引き合わせをワンストップで行う。県やふるさと回帰支援センターを利用して今すぐ積極的に進めるべきである。

その他の質問  
○バス路線、児童生徒関連

# 住宅火災事故死の7割は高齢者、その対策は

布施谷 裕 泉



**消防課長** 義務化されている住宅用火災警報器設置の促進をはかっていきたい。

**質問** 特に高齢者一人暮らしの場合は、わかっているはず、結果として事故死につながるケースが多い。そこで火災発生を複数軒で同時に感知することにより、初期消火に迅速な対応ができる無線式火災警報器の共同設置を提案したい。

**消防課長** 隣近所で互いに火災を感知し、素早い行動がとれることは、被害を最小限に抑えるために大きな意義があると考えられる。積極的に紹介していきたい。

**質問** 須賀川区では地域としてどう取り組むか検討に入ることになっている。地域防災を推進する町としての支援は。

**町長** 新しい提案であり、危機管理室を中心に十分検討させて頂きたい。

**質問** 当町の米は、本格的なブランド米に取り組み他市町村と比べても、数値的にはほとんど遜色ない結果が出ている。取り組み次第では、日本一うまい米づくりも可能、行政として推進すべきでは。

**農林課長** 当町において米にはあまり力を入れてこな

かったのは事実。しかし農家が個々に出品したコメが国際コンクールで優勝するなど大変うまい米がとれている。今後そういう方向で検討していきたい。

**質問** 障がい者に配慮する町であるために必要な事は。

**総務課長** 配慮を求める法律が28年から施行され、取り組みが義務化される。見直しが予定されている人権政策に反映させていきたい。



初の夜間の町総合防災訓練（平成26年9月1日）

# 原付自転車にご当地ナンバーの導入を

西 宗 亮



**質問** 原付自転車ご当地ナンバーを千曲市や上田市へ行ってみてきた。形や色などそれぞれ工夫を凝らしている。住む町への愛着心、シンボルマークの意識高揚、観光的にも走る広告塔になる。山ノ内町は町制施行60周年の節目を機に当町でも導入してはどうか。

**町長** 新しい一つの試みとして、来年町制60周年ということもあり、費用対効果を含めて内部検討したい。

**質問** 通学路安全確保について具体的対策の進捗状況



上田市のご当地ナンバー

は。また、通学路の暗部対策、狭箇所除雪など地域から要望の声もある。どのように対処していくのか。

**教育長** 小・中学校とも登下校に合わせて職員同行で危険箇所などを確認したり、PTAの協力を得て点検も行っている。また、通学路安全対策協議会的組織は、できるだけ早く立ち上げるべく取り組んでいる。

**建設水道課長** 通学路の安全対策は優先すべきと考えている。道路照明が必要な箇所には設置を検討する。また、狭箇所除雪は補助金を活用して地域で実施してほしい。

**質問** 旧農免道路は生活関連道路、通学路としても重要な町道である。残る約800mの歩道整備を後期基本計画の中で実現するよう取り組むべきではないか。

**町長** 議員の熱意は十分理解するが、行政は全体的に計画、対応し、財政面や緊急度、危険度など総合的に判断していく。子どもたちの安全確保は重要であること認識しており、今後、全体を通して対応していきたい。

# 在任中の総括と自己評価は



黒岩 浩 一

事につき、町長評価は。

**町長** 自分が何も判らなかつた時期に、副町長はいち早く当町にとつてのユネスコエコパークの意義に着目して動いてくれた。また行政の常識は民間の非常識との考え方も新鮮に感じた。

**質問** 人事院勧告の実施計画など重要事項は、一般質問事前通告期日前に議員に提示して欲しい。

**町長** 今後努力する。

**その他の質問**

- 人口減対策の戦略的推進。
- 学力テスト結果公表問題。
- 温泉・医療タウン構想。
- ふるさと納税推進策。

**副町長** 自己総括は厳しくありたい。多くの町民と接し、職員と話し、また東京の官民友人の情報の収集に努力したが、実績反映は不満足で50点以下。また町の課題・しがらみなど分かるにつれて、熱心な若い人と話す時、いつの間にか自分も保守的・否定的な口調になり、そんな事では外部視野を求められている自分としては賞味期限切れと反省した。今後も努力する。

**質問** 町長に大きな失点は見当たらないが、町は先細り・じり貧状況。今後町民に夢を持たせるような具体的な施策を。また副町長の仕



この町に夢と希望を

# 議会報告会での要望・意見に対する考えは

高田 佳久



**質問** 福祉乗物補助券給付事業は、交付対象者全員に申請手続きなしで補助券の交付を。

**健康福祉課長** 金券方式のため、審査も兼ねて申請の形を取りたい。また、初年度の申請手続き以後、該当要件に変更がない限り、2年目以降の手続きは不要で自動継続となっている。

**質問** 中学校で運用している連絡システム（オクレンジャー）は、地区情報が広域すぎるため詳細な地区情報に。

**質問** 多子世帯の保育料負担の軽減を。

**健康福祉課長** 27年度以降の実施計画に計上した。



かえで保育園の発表会 元気いっぱいの子どもたち

**教育次長** PTAからも同様の要望が学校にあり、現在中学校において連絡送信するグループの見直しを行っている。

**質問** 延長保育（18時30分）と放課後児童クラブ（18時）終了時間の差異解消を。

**健康福祉課長** 子育てしやすい環境づくりのため、新年度より延長保育の終了時間に合わせる方向で対応したい。

**質問** 実施計画での内容は、多子世帯の園児が1人でも2人でも3人でも1人分の保育料となる内容だが、「子育ての町・山ノ内」と言えるような積極的な支援として、第三子以降の完全無料化を。

**町長** 今回は実施計画の内容で行う。今回を第一歩として捉えていただき、今後十分検討はしていきたい。

# 若者定住促進課の設置を

望月 貞明



掲載は難しい。若者、退職者を問わず移住を促進。

**質問** 若者定住促進には仕事、子育て、住居のニーズを把握し、近隣市町村と比べ際立った施策が必要。若者定住促進専門の課、係を設置すべきと思うが。

**町長** 今は考えていない。

**質問** 神城断層地震では死者がなく救援体制が明確だった。要支援者、避難経路を各自が記載できる地区別

**総務課長** 20〜30代の若者減少を半減させたい。

**質問** アンケートによれば、都会の若者の中に地方志向があり、移住の条件は、①医療機関の存在②仕事③家を安く入手の3条件である。農地面積、観光や産業の規模から、どれだけ就業人口を増やせる余地があるか。

**農林課長** 里親制度充実からインターンにつなげたい。

**観光商工課長** 雇用確保の取り組みは行いたい。

**質問** ホームページの空き家バンクは、掲載数が少なく退職者の移住を募る文面だ。若者定住に力を入れていくのか分らない。

**総務課長** 全ての空き家の

防犯マップ、災害別の避難が図説され、防災訓練に使えるガイドブック配布を。

**総務課長** 検討したい。

**質問** 湯田中駅南側の貸駐車場先の見晴らしのよいスペースに、鳥瞰図・ベンチを備えた展望台設置は。

**観光商工課長** 場所を確認した上で研究したい。

**その他の質問**

○ポスト有線放送、白根山。



求められる少子化対策 南小運動会の組体操

# 町のイメージづくりの方策は

小 淵 茂 昭



**町長** 町政60周年を迎えることから、第5次総合計画を基本とし恵まれた自然を活かし、自信と誇りの持てる郷土づくりを目指したい。

**質問** 要望に対するスピード感の自己評価は。

**総務課長** 予算範囲内で早めの対応をし、緊急性、重要性次第で予算補正する。

**質問** ふるさと町歌を作るべきと思うが。

**総務課長** 節目の年に制定している自治体が多い。町制60周年記念事業実行委員会で意見を頂戴したい。

**質問** ご当地ナンバー登録を進める考えは。

**総務課長** 今後検討したい。

**質問** 大改修工事をするよませ保育園で、立地条件を活かした園児受入を推進する考えは。

**健康福祉課長** 保護者が他市町村で仕事をしている場合など、通勤途中の位置となり利便性が高く、今後入園者が増加する余地がある。

**質問** 雪害準備体制強化を。

**町長** 住民生活、産業振興また交通安全に直結する大変重要課題であり、この冬に向けて関係者と調整し、

万全な体制で臨みたい。  
**質問** 全国的レベルの位置付けと方策は。  
**町長** 市場、仲卸、スーパーで大変高い評価をいただき、今後ユネスコエコパークを契機とし、ブランド化を推進していく。



やまのうちどんどん

**質問** 町ホームページの更新はなぜされないのか。

**農林課長** 更新されていない部分は至急訂正していく。

**質問** 農林業センサスの目的と活用は。

**総務課長** 企画立案推進の基礎とし、振興策に活かす。



# 人口減少社会、山ノ内町の将来展望 と産業振興方針は

山本良一



**質問** 人口減少社会に向けての展望と対応は。

**町長** 人口減少には雇用の創出が課題。そのためには産業の振興が重要。お客様のニーズ（需要）に合った施策の実施、国県の施策を反映し産業振興をはかる。

**質問** 空き店舗増への対応は。

**観光商工課長** 空き店舗事業補助金交付は現在までに9件。その内3軒は今年度、次年度についてもすでに、3軒の改修予定がある。

**質問** 移住定住策は。

**総務課長** 「ふるさと帰郷支援センター」などが開催するセミナーや住民ブースの設置など積極的に参加したい。また空き家バンクの充実のため、町民の皆様にも積極的な登録をいただきたいよう、推進していきたい。

**質問** 帰郷センターの理事長にうかがったところ、最近の移住希望者は若年層が6割を占めることから、セミナーやプレゼンでは効果が薄い。商品つまり職をたずさえて、マンツーマンで話さないとのことだが。

**総務課長** 議員指摘のとおり、町に移住していただくことは遊びに来るわけではなく、そこで生活していく基盤がなければ続かない。

○小学校適正規模適正配置審議会について。

○東小体育館の地すべり対策。

○災害発生時の避難所への誘導について。

○観光連盟移設後の状況とインバウンドへの対応は。

観光と農業を充実させていき、そこで職を生み出していくという形を目指していくべきと思う。

その他の質問

○観光連盟移設後の状況とインバウンドへの対応は。

○災害発生時の避難所への誘導について。

○東小体育館の地すべり対策。

○小学校適正規模適正配置審議会について。



# ユネスコ エコパークの 魅力とは何か

高山祐一



**観光商工課長** 国内7地域

世界約630地域が登録されている。志賀高原の知名度を世界に向けて発信し、インバウンド増を期待。国内600校、世界9、600校のユネスコ・スクールの環境教育プログラムによる効果や、また核心地域のトレッキングツアーの参加者増など誘客に期待する。

**農林課長** 国内移行地域内での農産物生産地域は3か所。この希少性を活かしつつ、「だからうまい清流育ち」として、ユネスコが認定した生物多様性の富んだ貴重な自然環境が育む農産



志賀高原ユネスコエコパークは、関係機関との意思疎通をはかり今後の利活用が課題

物というストーリーにより、新たなブランドイメージを構築していく。

**質問** エコパークに対し、どのようなことを策定し、行動していくか。

**観光商工課長** 現状と課題を洗い出し、その対策と新たな事業展開を進める。生物多様性の保存、持続可能な発展のための調査研究、自然環境の保全と調和の3つの機能達成のため、関係機関とともに進める。

**質問** 自力で避難できない

災害時要援護者を避難所に避難誘導する場合、車いすなどの備品が必要になるが、各自防災組織の調達に財政支援制度はあるか。

**危機管理室長** 町自主防災補助金交付要綱で、ヘルメット、ハンドマイクなど3万円を限度。「赤い羽根共同募金」からは発電機、テントなど1団体20万円限度の資金。コミュニティ助成事業は、自主防災組織育成助成事業で30万から200万円までの助成がある。

# 町民と議員のホットな論議

## 議会報告会

年一回開催の議会報告会は第8回目になり、例年と同じく町内5か所で開催しました。今年のメインテーマは「人口減少と地域防災」でしたが、それに限らずに、幅広い質問が出され、意見交換が行われました。

以下は各地での主な話題ですが、詳細な議事録は、内容に応じて必要な補足説明や議会としての対応の説明などとあわせて、後日各区・公民館に配布、また、議会ホームページにも掲載しますのでご覧下さい。

### 平成26年度 第8回議会報告会開催結果

地域	開催日	場所	住民参加数	出席議員数
西部	11月8日(土)	よませふれあいセンター	54名	14名
東部上	11月13日(木)	和合会館	11名	15名
東部下	11月14日(金)	町文化センター	18名	13名
北部	11月22日(土)	北部公民館	19名	14名
南部	12月20日(土)	ほなみふれあいセンター	23名	10名
5地域の住民参加者数合計			125名	

#### ①人口減・少子高齢化・過疎化関連

・転入希望者は一部増加傾向も見えるが、当町魅力のPRと受け入れ態勢不十分。また就農支援を。(全地域)

・人口減を受け入れて、残る少ない人に質の高い行政サービスをするとの考え方もあるのでは。(西部)

・きめ細かい婚活支援と子育て支援。思い切った第3子出産奨励、若者定住補助・雇用確保支援等を。(西部、東部上、南部)

#### ②防災関連

・災害時の情報伝達手段の拡充・多様化を。防災マップの充実を。小型ポンプ付軽積載車の更新基準は。(西部、東部下、南部)

・火災時の消防団対応不十分。機能別消防団員制の実施時期は。(東部上)

#### ③議会関連

・議員定数は削減不要(北部)

・もつと削減を(南部)

・町長選、町議選を同日にできぬか。(東部下、南部)

#### ④社会体育館について

・なぜ検討がこの様に遅れているのか。(西部、南部)

#### ⑤観光振興

・外国人観光客応接ボランティア拡充を。(東部上)

・観光客数・宿泊者数の把握の仕方が粗雑。(東部上)

・野猿公苑行き2ルートの整備促進を。(南部)

・景観条例の理念を生かせ。またユネスコエコパーク、インバウンドの具体的事業推進を。(東部下)

#### ⑥農業振興

・ブランド化・儲かる農業・直販拡大。地産地消マインドを。(西部、東部下、南部)

・後継者問題待ったなし。就農支援、農業里親制度拡充を。有害鳥獣問題。(南部、東部下)

#### ⑦生活関連

・高齢者のため、地元の買い物施設拡充を。(西部)

・路線バス同士と路線バス・電車接続に工夫を。(西部)

・タクシー補助券もつと工夫を。(西部)

・保育園延長時間と小学校児童クラブ終了時間のすり合わせを。(西部)

・403号JASTAスタンド付近樹木伐採など。(北部)

・除雪時間繰り上げと除雪対象外町道再検討を。(南部)

#### ⑧その他の話題

・大きい民生費を節約し、観光・農業にもつと予算を。(東部下)

・平和観音は国の登録有形文化財指定申請準備中。(東部下)

・ふるさと納税。(北部、南部)

・町税滞納額。(東部上)

・新斎場関連。(東部上、南部)

・東山クリーンセンター大修理関連。(東部上)

・小学校適正規模適正配置の審議進行状況。(東部下)



西部地区会場

# 視察報告

## 知恵に学ぶ

### 社会文教委常任委員会

金沢市は「ユネスコスクール」取り組み先進地、息づいているのは地域とのつながり

#### 金沢市立花園小学校

ユネスコスクール取り組みの動機の一つは「学習の再構築」

#### 〈学習面の取り組み〉

算数科においては全学年で「早口計算」運動を行ったり「学び」の手法を組み込むなど独自の教育を展開。学力においては、全国学力調査などで手ごたえを感じているとし、さらに不登校についての質問には、一人もいないとのことでした。〈郷土とのつながりを認識

10/9~10



タブレットを活用した5年生の授業

するために

ESD(※1)では特に

郷土の歴史が大事にされていますが、ここでは地域の偉人「八田與市」に焦点を当てた授業が行われています。

〈小規模校としての対応と視野を広げるために〉

全校144名で小規模校の課題とする「人間関係の固定で前例踏襲に陥りやすい」ことなどへの対応や新たな視点での学向上をめざし、タブレット等のICT

T(※2)機器を活用した授業が行われていました。

#### 味噌蔵町小学校

テーマは「兼六園・金沢城公園に学ぶ伝統文化」

〈総合学習における各学年の取り組み〉

1年生 金沢の昔遊び・金沢城公園の春夏秋冬  
2年生 金沢の民謡・味噌蔵町小学校区の名人さん  
3年生 兼六園MAPづくり・金沢の和菓子作り挑戦  
4年生 加賀友禅に挑戦・郷土の偉人「高峰譲吉博士」  
5年生 加賀宝生に挑戦・金沢の食文化  
6年生 加賀宝生を能楽堂で披露・姉妹校荒子小学校との交流

この他の主な取り組み  
〈子どもおごすやん〉



加賀宝生を練習中の5・6年生

児童の質問力・対話力の向上や英語を使つての発信を課題としており、実践として子どもまいごさん(※3)に取り組んでいました。

今回の視察はこの2校の他、介護の関係で金沢市のサービス付高齢者向け住宅「湯癒館 金沢・問屋町」を視察しました。

#### 用語の解説

- ※1 ESD…持続発展教育  
—持続可能な社会づくりの担い手を育む教育
- ※2 ICT…情報通信技術
- ※3 まいごさん…金沢ではボランティアガイドがこう呼ばれている。

### 総務常任委員会

#### ふるさと納税

#### 各務原(かかみがはら)市

航空自衛隊基地、航空産業を抱える各務原市のふるさと納税は、表のように、平成25年度には寄附が1億2,500万円近い額に急増しました。

この年には、ふるさと納税を増やすため次の取り組みが行われました。

#### ①市制施行50周年を記念して、ふるさと寄附金

1万円につき、5千円程度の商品が選べるよう、市内の業者に特典商品を募り、70点近い商品を選んだカタログを作成しました。

#### ②従来から金融機関に大手都市銀行

が使えたのに加え、寄附金が手軽に納付できるクレジットカード・ネットバンキング・コンビニ納付を選択できるようにしました。

その結果、ふるさと納税が増え、テレビ、雑誌などのマスコミに取り上げられ、相乗効果で飛躍的に増えたとのことです。

#### 地域防災

#### 大垣市

人口16万の大垣市は、水の都として繁栄してきた反面、自然災害との闘いの歴史がありました。

明治24年の濃尾地震では、死者670人、家屋全壊2,676戸の被害があったほか、昭和19年のマグニチュード7.9の東南海地震では、死者2人、家屋の全壊80戸の被害がありました。近年では昭和51年の豪雨により4,451戸が床上浸水し、平成16年には703棟が床上浸水する災害が発

10/16~17

年度	件数	寄附金額(円)
22	5	728,000
23	6	885,000
24	4	790,000
25	8,188	124,980,000

# 常任委員会

## 先進自治体の

信州首都圏総合活動拠点

銀座NAGANO

北陸新幹線金沢延伸により広がる首都圏マーケット



オープンキッチンで装飾菓子製作を実演中

### 観光経済常任委員会

10/28~29

東京青果(株) (東一青果) は年間取扱量が約1,894億円で、2位

#### 東京青果(株)

東京都中央卸売太田市場

の可能性を長野県内全域に呼び込むための拠点として平成26年10月26日に銀座すずらん通りに開設された銀座NAGANOは、①「フエア」でなく「シエア」、単なる催事の場所ではなく、信州の営みを共有する場に、②「伝える」だけでなく「つながる」、一方向で伝えるのではなく、双方向・継続的に関係性を作る場に、③「観光地」ではなく「関係地」、一過性の観光地ではなく「コト・ヒト・モノ」を通じ、繰り返し訪れていただく目的地に、という3つのコンセプトに基づき今後の運営が進められます。視察当日は大変賑やかで、多くの人が長野に来て頂けることを期待しました。



東一青果担当者との懇談

の、大果大阪(株)の1,014億円より880億円多い。山ノ内町の青果は大阪方面に多く出荷されていますが、東京方面は志賀高原ブランドによるブドウ、リンゴ、キノコを出荷しており、高級ブランド品として伊勢丹などで販売されています。

ふるさと回帰運動は豊かな21世紀への架け橋

#### NPO法人ふるさと回帰支援センター

平成14年11月に設立され

た法人で、移住相談をおこなっています。また、全国の市町村がふるさと暮らしセミナーやPRセミナーも開催しています。近年、相談者の年齢構成に変化が現れ、若い世代(子育て層)の田舎暮らし希望者が増加しているの、「空き家と自然と夢」だけでは対応ができません。職と暮らしに関する具体的な話を持つてきて、希望者と真剣に対談していただかないと、人口増には繋がらないとの助言をいただきました。



ふるさと回帰支援センターとの懇談

生しています。現在、このような災害に対処する自主防災組織は、493の全地区に組織されています。



大垣市の地域防災について説明を受ける

救命ボートなどの機材は市の半額補助制度を利用して、装備の充実を図っています。ソフト面では、市内を流れる10の河川ごとの浸水を予測したハザードマップや、土砂災害危険地域ごとの防災地図、災害別に避難方法を詳細に記した51ページからなる防災ガイドブックを全戸に配布しています。また、平成21年から自主防災組織の人材育成を目的に「大垣市防災人づくり塾」の防災講座を開設しま

した。昨年までの受講終了者263人の中で、防災士の資格取得者が211人おり、防災組織のリーダーに育っています。合格者の中に女性20%、自治会長17%、消防団員13%が含まれています。

こうした取り組みで、市民の防災意識が高まり、平成25年度は85回の防災訓練が行われ、7,136人が参加しています。

#### 岐阜市

人口42万の岐阜市は、中心を長良川が流れ、昭和34年の伊勢湾台風の水害後、最初の自主防災組織が設立され、昭和51年の水害を経て全50地区に自主防災組織が設立されています。

岐阜市の特徴は、4小学校ほどの広さの区域ごとに会議室や防災資・機材を備えたコミュニティ防災センターがあることです。通常はここを中心に、防災活動が行われています。市では意識の向上のため、毎月1日を市民防災の日と定め、防災占検・訓練・研修会への参加呼びかけなど何らかの活動を行っています。

# みなさんからの請願・陳情

受理番号	件名	陳情・要請者	審査結果
陳情第9号	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会 大阪市 代表 藤本 久美子	採択 意見書提出
陳情第12号	横田めぐみさん拉致事件に関する陳情	東京都 日本軍海兵隊 片木 豊	不採択
陳情第13号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	採択 意見書提出
陳情第14号	介護従事者の処遇改善を求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	採択 意見書提出
陳情第15号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情書	中野市聴覚障害者協会 会長 山田 靖	採択 意見書提出
要請第1号	地域振興・地域林業の確立に向けた「山村振興法」の延長と施策拡充に係る要請について	中部地方森林労連 全国林野関連労働組合中部 地方本部 執行委員長 後藤 弘二	採択 意見書提出

## 議会全員協議会

第11回（12月9日）

平成27～29年度実施計画

11月14日・19日に総合計画審議会が開催され、28日に同会長から町長に意見書が提出された。

3年間の主な新規事業および事業費は次のとおり。

### ○産業分野

・県営かんがい排水事業長寿命化 1億1,140万円

・いのちを守る森づくり・苗木育成事業 4,800万円

### ○保険・医療・福祉分野

・子どもインフルエンザ予防接種事業 702万円

・認知症徘徊対策事業 99万円

・権利擁護センター負担金事業 300万円

### ○教育・文化分野

・小学校ESD推進事業 1,500万円

### ○都市基盤・生活環境分野

・地域間幹線バス路線運行補助事業 600万円

・南部浄水場更新・配水池ろ過設備設置事業

4億7,480万円

・防災無線デジタル化事業 2億1,200万円

### ○行財政分野

・移住促進事業 900万円

・町制60周年記念事業 500万円

### 竜王地区賃貸借契約の一部変更

3年に一度の改定で、土地評価額の下落から減額改定となった。また、一部スキームが追加となった。

### ほなみふれあいセンター陶芸窯場火災

11月20日午後3時40分頃出火。陶芸窯は修繕完了まで利用中止との報告。

### 第12回（12月12日）

人事院勧告等による条例改正

### 第13回（12月22日）

12月18日発生の水道本管破損事故

## 議会議員協議会

### 第4回（11月20日）

議会の議員の期末手当に関する条例の改正協議。

### 第5回（12月22日）

長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会総会に提出する議題の検討。

特別豪雪地帯における道路除排雪について、児童生徒の通学路の安全ならびに災害時指定避難所の機能確保などの財源措置のため、地方交付税の配分強化を要望していくことに決定。

## 議会活性化研究会

### 第44回（10月21日）

長野県町村議会議長会から講師を招いて議員研修会を開催。



10月21日開催の議員研修会

### 第45回（10月24日） 第46回（10月30日） 第47回（12月2日） 第48回（1月8日）

○第8回議会報告会の検討（資料検討）

○各種委員等選出に関する地区議員団関与の検討  
○議会基本条例の検討

# 議会を傍聴して感じたこと

村上徳二郎さん

一般質問を傍聴して感じたことは、どの議員もいろいろと工夫をして、まちの様々な課題について質問をされていると思いますが、一つ残念なことは同じテーマについて何人かの議員が、繰り返し同じことについて質問をされていることです。せっかく貴重な時間を使って質問をするのなら、事前に話し合っ

て誰か一人がそのことについて代表して質問をし、その答弁に対して更に深く突っ込む必要がある場合は、別の議員の方が関連質問としてそれを補足するかたちで引き継いで、違う答弁を引き出すような連携をしていけるような取り組みは、できないものでしょうか。

具体的には、せっかく党派という組織があるのですから、まずは会派内で統一した質問をするとか、あるいは、それぞれのテーマごとに同じ質問を予定している議員同士が、事前に話し合っ

てチームを組んで対応してもらえば、かなり改善されると思うのですが。

さらに今、まちとして一番重要であると思われるテーマについては、集中的に（徹底的に）



一般質問の様子

## みんなのひろば 〈傍聴記〉

### 議会傍聴記

須賀川区長 小林 裕正さん

第4回山ノ内町議会定例会、一般質問の傍聴に、今年初めて出向きました。三日間全てという訳にはいきませんが、たので、地元議員を中心に聞きました。

まず、一般質問の通告趣旨について壇上にて発議し、町長からの答弁を求め、再質問は質問席において、細部について質問を行っておりました。その中で感じた事は、質問者・答弁者共に語尾がハッキリしない場面があり、聞いていて理解し難く、残念に思いました。

一般質問と言う公開の場であり、語尾をハッキリさせないと、相手に対し十分に理解して貰えず折角の質問要旨が半減してしまうのではないのでしょうか。

それぞれ自信をもって、質問あるいは答弁をして欲しいと思います。

開かれた議会と言う事で、議会議長名により区長宛てに、議会一般質問の日程と傍聴依頼の文書が届きましたが、良い試みだと思います。今後も続けて欲しいと思います。

更には、今年度で八回目と言う事ですが、議会報告会を各地区において実施されておりますが、開かれた議会と言う事からして非常に町民目線にたった取り組みだと評価いたします。

区長と言う立場では、できるだけ大勢の区民に参加を願う努力をいたします。

最後に、山ノ内町・山ノ内町議会の尚一層のご努力により、素晴らしい山ノ内町に導いて欲しいと願い、私の傍聴記といたします。

「みんなのひろば」は、町民の皆さんと議会の交流のための「なんでもひろば」です。皆さんからの投書・投稿や、必要な場合は議会からの回答、ほか広報委員会の企画記事、議会傍聴者の感想など、いろいろのせます。投書・投稿は、議会事務局気付け広報委員会宛てお願いします。

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年は十二支の中では比較的なじみの薄い未年です。羊が家畜化されたのは、今から8千年以上も昔といわれています。馬が家畜化されたのが5千年前ですから、羊と人間の付き合いはかなり長いことになります。

羊を用いた諺(ことわざ)がいくつもあります。「多岐亡羊(たきむつじやう)」は、わかれ道が多いために、逃げた羊を見失ってしまうという意味で、方針が多いために、どれを選んだらよいか困ってしまうことです。また、悩みを抱え困っている人は「迷える子羊」にたとえられます。

今年、町制60周年です。私たち町民が「迷える子羊」にならないようみんなで山ノ内町の未来をしっかりと見定め、希望に向かって頑張っていきたいと思います。

〈高田佳久 記〉